

## 小集会

### 1. 「ニホンナシをつくりこなす」小集会

要旨： 本小集会はニホンナシ研究に携わる研究者が栽培技術や試験技法について情報交換することにより、ニホンナシの栽培研究の活性化を図ることを目的とする。今回の集会では近年発生が多くなっている発芽不良、霜害について最新の研究情報、現場の事例を紹介して頂くとともに、各地の発生状況や対策技術確立に向けた取り組み状況などについて情報交換を行いたい。参加予定の方に今回のテーマに関連して簡単なアンケート調査をお願いしたいと考えています。ご協力いただける方は、世話人へご連絡をいただければと思います。

日時： 9月1日(金)14:00～16:00

場所： C5-201

世話人： 池田隆政(鳥取園試) ikedat@pref.tottori.lg.jp

内容：

「ニホンナシ発芽不良の発生要因および対策技術について」

農研機構果樹茶部門

阪本大輔

「温暖化に伴う発芽・結実不良への対策」

鳥取大農学部

竹村圭弘

「施設栽培ニホンナシにおける「眠り症」の現状および対策～福岡県朝倉地域の事例をもとに～」

静岡大農学部

富永晃好

「初冬から早春にニホンナシに被害を及ぼす被害と対策について～枝幹障害と晩霜対策を中心に～」

栃木農試

大谷義夫

### 2. 小果樹研究会

日時： 9月1日(金) 17:00～19:00

場所： C5-202

世話人： 今西弘幸(秋田県立大生物資源科学部) hima@akita-pu.ac.jp

内容：

「小果樹類の生産振興と市場創出の可能性 –あおもりカンスを事例に–」

北海学園大経済学部

宮入 隆

### 3. アスパラガス研究小集会

日時： 9月1日(金) 8:00～18:00

場所： 旭川市および美唄市生産者圃場

世話人： 地子 立(北海道総研機構 上川農試 地域技術グループ) jishi-tatsuru@hro.or.jp

〒078-0397 北海道上川郡比布町南1線5号 TEL: 0166-85-2200・FAX: 0166-85-4111

内容： 現地視察

### 4. 第24回日本イチゴフォーラム

日時： 9月1日(金) 15:00～17:00

場所： C5-301

世話人： 沖村 誠(農研機構九沖農研) toma23@affrc.go.jp

内容：

「北海道におけるイチゴ生産、品種育成の状況について」

北海道花・野菜技セ

木村文彦

「イチゴ夏秋どり栽培の現状と課題 –主に東北農研の試験結果から–」

農研機構東北農研

山崎浩道

### 5. 第6回結球性野菜研究会

日時： 9月1日(金) 16:00～18:00

場所： C5-302

世話人： 小林尚司(兵庫農林水産技総セ淡路農業技術センター)

shouji\_kobayashi@pref.hyogo.lg.jp

内容：

「レタスの環境ストレス耐性の改変」  
「長野県におけるキャベツ栽培の現状と課題」

神戸大院農学研究科  
長野野菜花き試佐久支場

宇野雄一  
小松和彦

#### 6. 第21回ネギ類研究小集会

日時: 9月1日(金)15:00~17:00

場所: 農研機構北海道農業研究センター(14時に北農研入口\*にお集まりください)

\*: 新千歳空港から北海道中央バス(札幌行)で月寒東1条19丁目下車(41分)

12:55→13:36、13:10→13:51

\*: 札幌市営地下鉄東豊線福住駅(札幌駅から23分)からバスで月寒東1条19丁目下車(8分)

世話人: 塚崎 光(農研機構東北農研) [tsuka@affrc.go.jp](mailto:tsuka@affrc.go.jp)

所内移動にマイクロバスを利用するため、8/25(金)までに世話人まで参加のご連絡をお願いいたします。

内容:

農研機構北海道農業研究センタータマネギ圃場視察

講演1: 「北海道産タマネギの出荷期間延長に関する取り組みについて」

きたみらい農業協同組合 組合員ふれあい室 技術開発グループ

庄子隆之

講演2: 「タマネギに含まれる機能性成分‘フルクトオリゴ糖’について」

北海道大院農学院

奥 聡史

#### 7. 第48回「暮らしと園芸」を考える小集会

日時: 9月1日(金) 15:30~17:00

場所: C4-101

世話人: 松尾英輔(前東京農業大) [a169sa@tsm.bbiq.jp](mailto:a169sa@tsm.bbiq.jp)

内容:

「さっぽろ花と緑のボランティア」

(公財)札幌市公園緑化協会 さっぽろ花と緑のネットワーク事務局

伊藤志織

札幌市内では多くの市民(個人)や団体が花と緑のまちづくり活動に取り組んでいます。会合では、(公財)札幌市公園緑化協会が行っている市民向け園芸講座の取組みと、花と緑のボランティア活動の現状について講演していただきます。

#### 8. 第9回伝統園芸研究会

日時: 9月1日(金) 15:00~18:00

場所: C4-201

世話人: 田中孝幸(東海大農学部) [ttanaka@agri.u-tokai.ac.jp](mailto:ttanaka@agri.u-tokai.ac.jp)

内容:

基調講演1: 「常緑性ツツジの種分化と園芸植物から自生地への遺伝子移入について」

明治大学

半田 高

基調講演2: 「園芸文化を創ったひとたち」

園芸文化協会

丹羽理恵

#### 9. 園芸分野における若手研究者交流会

要旨: 産学官の多様な研究機関に所属する園芸分野の若手研究者が、野菜・果樹・花きの各分野において取り組んでいる研究について発表し、講演やディスカッションを通して情報交換や交流の活性化を図る。

日時: 9月1日(金) 15:00~17:00

場所: C4-301

世話人: 落合正樹(岐阜大応用生物科学部) [mochiai@gifu-u.ac.jp](mailto:mochiai@gifu-u.ac.jp)

内容:

講演1: 「水ナスの低コスト環境制御による安定生産の実証」

大阪環境農林水産総研

鈴木真実

講演2: 「国内サボテン産業の振興に向けた取り組み」

中部大学応用生物学部

堀部貴紀

#### 10. 栽培系・環境制御系融合型施設園芸研究

日時: 9月1日(金)15:00~17:00

場所: C5-101

世話人：岩崎泰永(農研機構野菜花き部門) iwasakiy@affrc.go.jp

内容：パネルディスカッション

「生産現場で活用される研究や実験を行うために一栽培系・環境制御系融合型の研究に必要なスキルとセンス」

栽培系・制御系融合型の研究を実践している複数のパネラーに登壇いただいて、それぞれの分野の研究や実験を具体的に紹介いただきながら、必要なスキルや考え方を解説していただき、パネラーおよび参加者で意見交換する。

※想定している分野

環境制御 (CO<sub>2</sub>施用、除湿、生育モデルなど)、補光 (LEDなど)、エネルギー (ヒートポンプ、遮光、遮熱)、情報通信 (ICT、ビッグデータ、AIなど)、シミュレーション (光合成、気流、温度) など。

#### 11. 植物組織培養と超低温保存の小集会

日時：9月1日(金)15:00～17:30

場所：C5-303

世話人：松本敏一(島根大生物資源科学部) tmatsumoto@life.shimane-u.ac.jp

内容：

講演1「プレート法のマニュアルについて」	島根大	松本敏一
講演2「プレート法による超低温保存の細かいノウハウ」	農研機構遺伝資源センター	田中大介
講演3「新規殺菌方法による植物病の存在可否」	長岡技科大	牧 慎也
講演4「組織培養による薬用植物の保存」	島根大	松本敏一
講演5「培養物によるキクの品種保存方法とその問題点等について」	茨城県農業総合センター	平井弓子
演題6「茨城県におけるレンコンの現状と取り組み」	茨城県農業総合センター	堀井 学